

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名	築港天美線			シート番号	19-42	
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名)
						根兵

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法・都市計画法			
	4	関連計画	堺臨海部再生・創造ビジョン			
5	事業実施の経緯	大型車の通行が多いうえに、堺浜地区の急速な開発や今後供用開始が予定されている阪神高速道路大和川線の開通により、交通量の増加が予測されており、道路環境の改善が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	道路拡幅により交差点部の付加レーン等車線数を増やすことで交通混雑を緩和し、交通環境の改善を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和21年5月22日 事業区間: 堺区三宅町 路線延長: L=650m 道路幅員: W=25m(現道20m、北側片側拡幅) 車線数: 2車線 平成30年度は、用地の買戻し並びに用地取得に必要な測量を行い用地取得交渉を実施			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

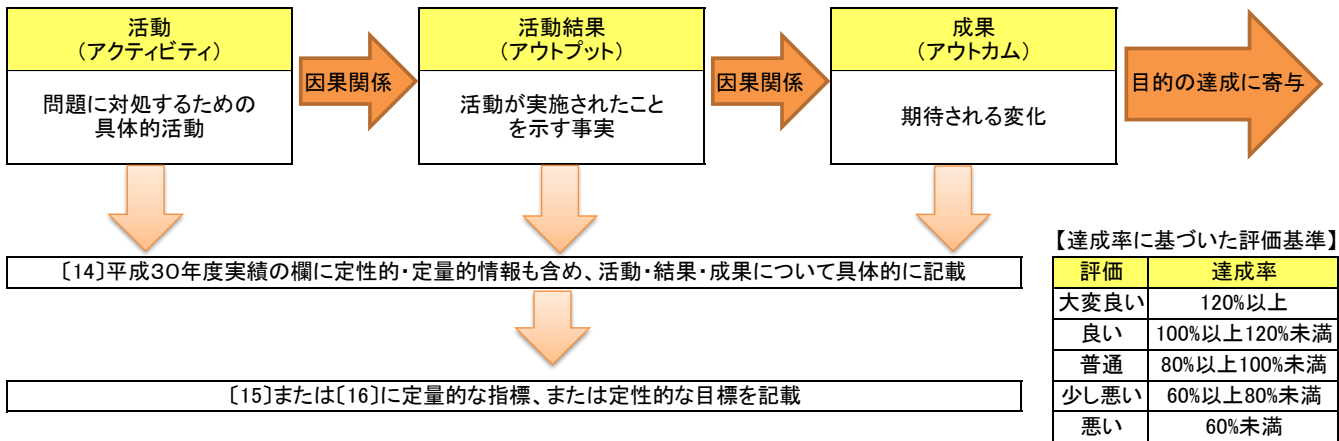
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	3,512	98,301	51,640	4,200	
	主な事業費内訳	工事費	千円	1,907			
		用地費	千円		96,460	50,929	
		委託費他	千円	1,605	1,841	711	4,200
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円		48,066	23,000	1,600
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円		43,200	25,100	1,400
		その他()	千円				1,200
	12 人件費 (b)	千円	5,500	5,206	6,586	4,676	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	9,012	103,507	58,226	8,876		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	築港天美線	シート番号	19-42
-------	-------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14	平成21年度に着手した築港天美線事業について、平成30年度は用地の買戻し並びに用地取得に必要な測量を行うとともに、継続的に用地交渉を行った。 [事業進捗] (用地取得状況) ○継続的な用地交渉の実施 ・用地取得率: 約46%				
	15	目標				
		用地取得の実施				
	目標に対する実績		継続的な用地交渉の実施			
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
算出方法・設定根拠など						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	○用地交渉が難航し、取得に至らなかった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。